

【地域連携推進会議 議事録】

- 【開催日時】 令和7年3月5日(水)13:30~15:30 (身体拘束適正化委員会、苦情解決報告会を兼ねる)
- 【開催場所】 中伊豆リハビリテーションセンター施設棟1階パブリックスペース
- 【出席者】 第三者委員：梅原賢治様、梅原久善様、藤原洋恵様、わかば利用者代表：高島清様、
福祉部：紅野(施設長)、五十嵐(苦情解決委員会)、土屋(わかば課長)、塩谷(さわらび課長)、
三須(あゆみ課長)、鴻野(なかいずりハ課長)、尾崎(地域活動委員会)、浅賀(虐待防止委員会)
- 【司 会】 塩谷
- 【書 記】 鴻野
- 【内 容】

1. 開会挨拶 (紅野)
2. 自己紹介
3. 次第の説明 (五十嵐) (資料に基づき説明)
4. 各事業の運営状況の報告および事業所(さわらび・わかば)のご案内 (五十嵐)
 - ・ 運営状況の報告については第三者委員の方に事前に資料を配布し確認いただいている。
 - ・ さわらびを塩谷、わかばを土屋が案内し、施設内の見学及び情報交換を実施。
5. 利用者および地域活動委員会活動委員からの報告 (尾崎) (資料に基づき報告)
 - ① 委員会の目的や設置根拠の説明
 - ② 具体的な活動内容の報告
 - ・ ボランティアは現在11名の登録。
 - ・ 3施設交流会は10月30日にわかば・伊東の丘・あしたか太陽の丘と利用者交流を実施。
『わかば代表 高島様より』
太陽の丘の利用者さんと一緒にボードゲームをやって盛り上がって楽しかった。
今後ふれあい広場とかやってくれと地域の方にも来てもらえるのでいいと思う。
 - ・ 知的障害者等居宅介護職員初任者研修は2名の受講者対応。
 - ・ 伊豆総合高校生徒会主催の修善寺大掃除ボランティアにさわらび利用者が月1回参加。
『さわらび利用者 名波様より (尾崎代読)』
一般の道の移動が思っていたより大変だったが、高校生が車椅子を押してくれて嬉しかった。自分の足で歩けるよう訓練を頑張ろうと思った。自分の町でもそのような活動ができればいい。
 - ・ ハンドアート製作プロジェクトに7月10日参加。
 - ・ キッチンカー (クレープ屋) やユニクロ訪問販売、社会復帰を目指すさわらび利用者には職場体験や外出訓練も実施。
『さわらび利用者 山田様より (尾崎代読)』
修善寺大掃除は高校生とも話ができて楽しかった。ユニクロは次いつ来るか待ち遠しい。
クレープは自分もお店の手伝いをして楽しかったし美味しかった。また来て欲しい。
 - ・ 課題としては近年コロナ感染の影響で地域の方との交流が少なくなっている。
次年度は介護体験事業や伊豆市民生委員の視察や講習などを計画している。
また施設の行事に地域の方を招くなど更なる取り組みを実施していきたい。
6. 地域活動に関わるご要望やご助言
 - ・ コロナ前の状況に、どの程度戻ってきているか。(梅原賢治様)
→ 3施設交流会やヘルパー講習における現場実習の再開、面会制限の緩和など状況は戻りつつある。現在は70~80%程度。外出時の飲食の制限は継続している。利用者にとっては飲食を伴う行事の参加希望が多く聞かれているため、職員としても心苦しい状況ではある。(尾崎)
→ 利用者の希望は多くあるだろう。事業所としてどの程度の回復を目指すのか、目標を決めて取り組むのもよいだろう。(梅原賢治様)
 - ・ 同じ世代や障がいの方との交流も大切だが機会は多くない。情報として最近では地域の高齢者施設でカフェなどの交流会を実施している。例えば「特養中伊豆」や「いこっと大東」。興味がある

方は参加しても良いのではないかと。(藤原様)

- ・ ボランティアの数は増えているか。募集はどのようにしているか。(梅原久善様)
→ 現在のボランティア登録者数は多いとはいえない。職員が知人に声をかけているが、今後は積極的に募集していきたい。また民生委員の方との関係を深め、広く施設を知っていただくきっかけにしたい。(尾崎)
→ 社協は民生委員の事務局を担っているため、協力していきたい。(梅原久善様)

7. 地域活動委員から (尾崎)

- ・ 貴重なご助言をいただき大変勉強になった。いただいた情報や助言を支援に活かしたい。

8. 虐待防止委員会活動報告 (浅賀)

- ・ 虐待防止および身体拘束に関わる基本的な考え方や現状の報告など

9. 虐待防止および身体拘束適正化に関わるとご要望やご助言

- ・ 「職員間で情報共有ができています」と利用者が感じられると安心に繋がる場合もあるなど(詳細略)

10. 苦情解決委員会活動報告 (五十嵐)

- ・ 令和6年度部内で発生した9件の苦情とその対応についての報告

11. 苦情対応に関わるとご要望やご助言

- ・ 職員が意見を伝えたり仕事に対する悩みを相談したりする方法はあるかの確認など(詳細略)

12. 連絡事項・その他 (五十嵐：内容省略)

13. 閉会挨拶 (紅野)

- ・ 利用者の権利や人権擁護の視点を大事にするとともに、職員の精神保健をいかに健やかに保つかということも事業所に与えられた大きな課題である。風通しの良い組織、事業所運営をしていきたい。今回いただいたご意見・提案を真摯に受け止め実行し、利用者も職員も護っていききたいと思う。本日はありがとうございました。

以 上